

## 委員会等の会議録

1 会議名	令和5年度 愛南町農林業振興懇話会	
2 議題	(1) 農林課事業の施策及び体系等について (2) 鳥獣害防止対策について (3) 愛媛お手伝いプロジェクトについて (4) その他	
3 開催日時	令和6年3月25日(月) 13時30分から14時40分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁 3階 第2会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	太田 吉彦、三宅 寿美、善家 華奈子、酒井 真理子、 下田 健二、河野 仁、新井 英男	
7 担当所属	所属名	農林課、農業支援センター
	担当職員 (職・氏名)	課長 松本 仁志 課長補佐 吉田 直喜 所長補佐 岸本 貴士 課長補佐 田村 智之
8 その他の 出席職員	所属名	愛媛県南予地方局農業振興課地域農業育成室 愛南農業指導班
	出席職員 (職・氏名)	主幹 伊藤 博章
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
松本課長	(開会挨拶)
松本課長	本日の協議事項について全ての説明が終わりましたら、最後に質疑応答、意見交換を行います。それでは、協議事項(1)として、農林課事業の施策状況と体系等について事務局から説明をお願いします。
田村課長補佐	(農林課事業の施策状況と体系等について説明)
松本課長	続いて、協議事項(2)として、鳥獣害防止対策について事務局から説明をお願いします。
吉田課長補佐	(鳥獣害防止対策について説明)
松本課長	続いて、協議事項(3)として、愛媛お手伝いプロジェクトについて事務局から説明をお願いします。
田村課長補佐	(愛媛お手伝いプロジェクトについて説明)
新井委員	昨年度の実績ではイノシシが減っていましたが、今年は増えているようです。その要因は何でしょうか。
吉田課長補佐	昨年度はシカの被害が増えている代わりにイノシシの被害は減っているという状況でした。今年度は、イノシシの捕獲数は増えていますが、イノシシによる被害が増大したという確認も取れていませんので、分析はできていませんが捕獲実績による差と認識しています。
太田委員	農地中間管理機構関連農地整備事業について、要件を満たすのであれば要望したい地域もあると思いますが、どのような状況ですか。
田村課長補佐	この事業は、県営事業で地元農家の負担のない有利な事業です。要件としては、対象農地面積は10ha以上、中山間地域等は5ha以上必要であり、事業完了後には8割以上を担い手に集団化しないといけません。また、事業完了後の収益性が20%以上向上するなど、要望段階からしっかりとした計画がないと非常に難しい事業になっています。もし要望をしたいと考える地域があれば、地権者の方から8割の農地を担い手へ集積することの同意が得られるかどうか、さらに、収益性の向上が求められるため、その土地に合った品目や販路を検討する上でも農協等の意見も求めながら検討する必要があると考えます。その

発言者	発言内容
	<p>ようなお話があれば、農林課まで御一報ください。</p>
松本課長	<p>続いて、協議事項(4)のその他として、今国会に提出されている食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律に関して、公表されている見直しの方向性について事務局から説明をお願いします。</p>
田村課長補佐	<p>(その他について説明)</p>
新井委員	<p>スマート農業に関してですが、ドローン防除などの技術を導入しようとしても、風の影響や登録農薬の関係などがあるため難しいのではないかと思います。まずは、少しでも労働力の低減につながるように電動ハサミなどの簡単なところから始めてみるのが良いと思います。</p>
河野委員	<p>人手不足は深刻な状況になっています。日本人だけでなく外国人の雇用も考えていかなければなりません。しかし、大きな問題となっているのが宿舎の問題です。人を呼ぼうにも泊まる所や住む所がなくてはどうしようもないです。そこで、宿舎が必要かどうか、その方向性を確認するためにもアンケートを取っていただきたいと考えますがいかがでしょうか。</p>
新井委員	<p>宿舎があれば、担い手となる新規就農者の確保にもつながると期待します。</p>
田村課長補佐	<p>どのような営農類型の方を対象にして実施するかも含めて、検討したいと思います。</p>
松本課長	<p>その他、本日の会全体を通して何か御意見、御質問等ありませんか。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>
松本課長	<p>御意見等ないようですので、以上をもちまして、本日の懇話会の協議日程を終了します。 委員の皆様におかれましては、本日の会の進行に御協力いただきありがとうございました。</p>
田村課長補佐	<p>(閉会)</p>